

「この本、よかった！」(110)
『フントン がんばるもん』
作・絵 キヨノ サチコ
(偕成社)

皆さんにもおすすめしたい「くまどく本」、今月は、淳教幼稚園からです。

白井 美沙都(年少・はな組)
かばのかんごしさんがうた
いながら、けがをしたフン
タにうつちゅうしゃをえらん
でいるところがおもしろい
よ。わたしもちゅうしゃは
がてだけど、フンタンをおも
いだしてがんばるよ。

白井 記望子(母)
勇気を出して苦手な注射に
挑むフンタンの姿やフンタン
を励まし見守り続ける友達
の優しさに胸が熱くなる絵本
です。本の世界を親子で一緒
に味わえる「くまどく」をこ
れからも続けたいです。



(教育総務課)

ミニ・ビブリオバトルin
くまどくフォーラム観覧者募集

くまどく本を通して人を知る
人を通して本を知る

ミニ・ビブリオバトルとは、自分のお気に入りの本の魅力を3〜4分間で紹介し、最後にその中から一番読みたくなった本(チャンプ本)を決める書評ゲームです。小・中高・一般の3部門の発表がありますので、ぜひご覧ください。

時 11月5日(土)9時〜12時45分
(くまどくフォーラム内)
所 熊野町民会館
定 30人
申 10月20日(木)までに熊野町民
会館まで申し込みください
問 熊野町民会館
☎ 854・3111
☎ 820・5820
(教育総務課社会教育グループ)

人権とわたし 性的指向と性自認

「男性が男性を、女性が女性を好きになる」ことや、からだところの性の食い違いに対して、根強い偏見や差別があり、苦しんでいる人々がいます。性的指向や性自認などに対する偏見や差別をなくし、理解を深めることが必要です。

○性的指向とは

性的指向とは、人の恋愛や性愛がどういう対象に向かうのかを示す概念です(異性愛、同性愛、両性愛)。同性愛者や両性愛者は少数派であるために差別的扱いをされることがあります。現在はこのような差別や偏見は不当であるという認識が広がっていますが、未だ偏見や差別が起きているのが現状です。

○性自認とは

性自認とは、自分の性の認識を示す概念です。性自認(こころの性)と生物学的な性(からだの性)が一致しないため違和感を感じ、身体の手術を通じて性の適合を望むこともあります。

性同一性障がいのある人々のうち、一定の条件を満たす人は「性同一性障害者の性別の取り扱いの特例に関する法律」により、家庭裁判所で性別の取り扱いの変更の審判を受けることができます。

○「LGBT」とは

性的指向や性自認を示す単語の頭文字を組み合わせた言葉です。

- L 女性の同性愛者(レズビアン)
- G 男性の同性愛者(ゲイ)
- B 両性愛者(バイセクシュアル)
- T ところとからだの性の不一致(トランスジェンダー)

出典・人権啓発冊子『「気づき」から「きずな」へ』(令和4年2月広島県発行)

(生活環境課)

オープンスクール

熊野高等学校

この地に(317)



8月18日(木)に中学3年生対象のオープンスクールを開催しました。3年ぶりに夏休み中に開催することができました。

全体会では、箏曲部の演奏に始まり、学校紹介、音楽部の演奏、部活動紹介、そして書道部の大書と盛りだくさんの内容で実施しました。また、全体会終了後、教科ごとの模擬授業と、芸術類型の各コースの説明を行いました。最後の部活動見学・体験会では、参加者は校内を自由に散策し、自分の興味ある部活動を見学していました。

参加者からは「学校のことがよくわかった」「部活動のパフォーマンスがすごかった」「高校生が生き生きとして楽しかった」などの意見をいただきました。今回も本校生徒が司会や運営を務め、生徒は達成感をもつことができました。10月22日(土)には、中学3年生対象ミニオープンスクール、令和5年1月21日(土)には、中学2年生対象オープンスクールを開催します。多数の参加をお待ちしています。



▲オープンスクールの様子

熊野高等学校 ☎854-4155

フラワーアレンジメントに挑戦中!

熊野東中学校

本校の家庭科部では、校内環境美化活動の一環としてフラワーアレンジメントに挑戦しています。部員同士のミーティングで活動内容を検討した結果、校内に飾り付けられたフラワーアレンジメントを見ることで、心が和み、人にもより優しくなれるのではないかという結論に達し、活動をスタートしました。そして、この活動を進めるにあたり、国際ソロプチミスト熊野および、華道家元池坊華道教授の方々10人をゲストティーチャーとしてお招きしました。

ゲストティーチャーからは、自然に咲いている花を自分で選んで並べて飾るので、自分の思い出や、夢をイメージしながらアレンジメントすることが大切であることを教わりました。実際に花を取り扱う上では、花の水揚げが大切であることも学びました。水揚げを行うと花が枯れにくくなり、長い期間美しい状態を保つことができます。

現在は習い始めで、まだぎこちないところもありますが、部員たちは心を込めて創作しています。今後もゲストティーチャーの指導を仰ぎつつ、上達してくれるものと期待しています。東中に来校した際には、家庭科部の作品が校内に飾られていますので、ぜひご鑑賞ください。



▲フラワーアレンジメントに挑戦

(教育総務課)

地域の日

熊野第二小学校

本校では、地域との絆をより深めたいと「地域の日」を設定しています。月に1回1時間30分程度図書室を地域の人に開放しています。

6月には、生活科の学習として1年生の質問に答えていただいたり、本の読み聞かせをしたりしていただきました。一緒に筆踊りの歌やカープの応援歌を聴いて踊っている児童もいました。また、地域の人から昔の様子を話したいと申し出があり、7月には5年生が熊野町の昔の様子についてお話を聴く時間をもつことができました。

お互いに顔が分かる関係になり、地域の人との「～したい。」などの声を聴き、学校と地域と一緒に協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともに特色ある学校づくり」を進めていきたいと思っています。

地域の日には、ちょっと学校へ寄ってみてはいただけませんか。お待ちしております。



▲地域の人とのふれあいの様子

(教育総務課)